

訓練生の声

塩釜高等職業訓練校

<令和7年度入校生>

N. T

私たち訓練生は、それぞれの事業所で働きながら、週に1回訓練校に登校し、木造建築について学んでいます。

多くの訓練生は入校当初、大工としての経験が少なく、大工の用語や道具について分からないことが多いため、1年生のときは主に基礎や基本を学びます。

授業では実技はもちろん、学科も行われ、製図や木質構造など建築士に必要な内容も学ぶことができ、理解が深まりました。また、普段何気なく使っている大工用語についても、あらためて意味を知ることができ、とても勉強になります。

実技では、現役の大工の先生方から、のみやのこぎりを使った昔ながらの継手の加工方法や道具の扱い方など、職場では得られない知識や技術を学ぶことができます。分からなかったことが少しずつ分かるようになり、道具の研ぎ方、寸法の取り方、部材の組み方など、最初は難しくうまくいかなかったことも、徐々に成功体験を積むことで、作業の手順や進め方が良くなり、自信がつく場所だと感じています。

実際に、そこで身につけた知識と経験が現場で生かせるようになり、私たちの大きな強みとなっています。

大変なこともあります。週に一度、訓練生の仲間や先輩、先生方と交流できることが、仕事を続けるモチベーションにもなり、これも訓練校に通う大きなメリットです。

秋の実習研修旅行では村田町などを訪問し、歴史や伝統的な建造物の構造を視察しました。楽しい行事としては、夏休みの親子工作教室で小学生と楽しい時間を過ごしたり、ボウリング大会では地域の建築関係の皆さんと交流を深めたりすることができました。

このように訓練校では、人との関わりや木造建築の学びを通して、職業人として基礎的・基本的な技術・技能の習得だけでなく、多くの知識や社会経験を積むことができます。

<令和8年度入校生>

H. O

この春に入校し、現在は2人だけですが、先生方から基礎や基本を学ぶとともに様々な話を聞かせていただき、毎週楽しみに通っています。

私たちの生活を支えている木造建築の大切さ・楽しさを、一緒に学べる仲間が是非増えて欲しいと願っています。興味がありましたら気軽に見学にお立ち寄りください。ホームページ、インスタグラムもご覧ください。

実際に道具に触れながら学ぶことで、少しずつできることが増えていく喜びや達成感を感じています。未経験でも安心して学べる環境なので、ものづくりに興味のある方はぜひ一歩踏み出してみてください。

仲間と協力しながら学べる時間はとても充実しており、毎回新しい発見があります。将来に役立つ技術を身につけたい方にもおすすめです。